

## 安全データシート

ページ: 1/13

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 28. 10. 2024

製品: Sodium Sulfite anhydrous food grade (E221)

バージョン: 1.3

(30042389/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 17.10.2025

### 1. 化学品及び会社情報

#### 品名:

Sodium Sulfite anhydrous food grade (E221)

用途: 食品添加物

推奨用途: 無機還元剤, 化学合成用原料, プロセスケミカル

#### 供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

#### 緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

### 2. 危険有害性の要約

#### 【化学品のGHS分類】:

急性毒性: 区分5 (経口)

水生環境有害性 短期 (急性): 区分3

#### 【GHSラベル要素】:

注意喚起語:

警告

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 28. 10. 2024

製品: Sodium Sulfite anhydrous food grade (E221)

バージョン: 1.3

(30042389/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 17.10.2025

## 危険有害性情報:

H303 飲み込むと有害のおそれ。  
H402 水生生物に有害。

## 注意書き（安全対策）:

P273 環境への放出を避けること。

## 注意書き（応急措置）:

P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

## 注意書き（廃棄）:

P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

GHS分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:

規制／注記にしたがって保管および取り扱いを行なえば、特に危険はない。この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

酸と接触すると有毒ガスを放出する。

### 3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

## 亜硫酸ナトリウム

CAS番号: 7757-83-7

化審法: (1)-502

労働安全衛生法: (1)-502

Na2S03

E 221

GHS分類に寄与する成分

## 亜硫酸ナトリウム

含有量 (W/W):  $\geq 75\%$  -  $\leq 100\%$

CAS番号: 7757-83-7

化審法: (1)-502

労働安全衛生法: (1)-502

急性毒性: 区分 5 (経口)

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

化学式: Na2S03

## 4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

粉塵を吸入して具合が悪くなった場合、新鮮な空気の場合に移動させ、医師の診察を受けること。分解物を吸入した場合: 直ちにコルチコステロイドエアゾール製剤を吸入すること。医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。、亜硫酸塩添加物に敏感な人は多く、皮膚炎、蕁麻疹、血管性浮腫、腹痛、下痢、気管支収縮、アナフィラキシーなど、様々な症状が生じる可能性がある。

危険有害事項: 飲み込むと胃酸と反応して二酸化イオウを生成する危険性。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

## 5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水、二酸化炭素、泡、粉末

[追加情報]:

製品は、燃焼しない。

周囲の環境に適した消火方法をとること。

[火災時の特有の危険有害性]:

二酸化イオウ

火災時には、前述の物質／物質群が放出する可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

[追加情報]:

製品自体は非可燃性であるが、周辺の消火方法に留意すること。汚染された消火用水は、法令に従い処分すること。火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。

## 6. 漏出時の措置

### [人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

皮膚、眼、衣服への接触を避ける。保護具を着用する。十分な換気を確保すること。粉塵を発生させない。

### [環境に対する注意事項]:

排水溝等に流出させない。土壌中に放出しないこと。汚染された洗浄水は、回収し廃棄すること。

### [封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

掃き集めるかすくい取る。法令に従って吸着剤を廃棄すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### [取扱い]

換気の良い場所でのみ使用すること。粉塵を発生させない。皮膚および眼との接触を避けること。

### 安全取扱注意事項:

不燃性である。注意事項は特になし。

### [保管]

酸および酸を生成する物質から離しておくこと。酸化剤から離して保管する。

適切な包装容器材料: ステンレス鋼 1. 4541, ステンレス鋼 1. 4571, 高密度ポリエチレン (HDPE), 低密度ポリエチレン (LDPE), カーボンスチール(鉄)

保管条件に関する追加情報: 熱から離して保管すること。容器は密閉して乾燥した換気の良い冷暗所に保管する。容器を乾燥して保管すること。この製品は酸素を消費する。容器やタンクの中の酸素が欠乏する事は危険である。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度

職業暴露限度は、不明である。

一般的な粉塵許容濃度を保つこと。

もしも、保管と取扱いについての規則/注意が観られない場合には、記載の物質は開発中である。

二酸化イオウ, 7446-09-5;

STEL (short term exposure limit : 短時間 0.25 ppm (ACGIHTLV)

(日本産業衛生学会 許容濃度)

本規制の対象であるが、データ値なし。詳細については、規制を参照のこと。

### 【保護具】

#### [呼吸用保護具]:

呼吸保護具（もし粉塵が発生した場合）低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具：固体粒子に対して低効率の微粒子フィルター（例：EN 143 P1型もしくはEN 149 FFP1型）。呼吸保護具（ガス／蒸気発生の場合）有機、無機、酸性無機、アルカリ性化合物及び有毒粒子のガス／蒸気用複合フィルターEN 14387タイプABEK-P3

#### [手の保護具]:

耐化学薬品保護手袋

（標準化されたもの。 例としてJIS）

#### [眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

#### [皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

#### [一般的な安全及び衛生対策]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。蒸気あるいは粉塵を吸入しないこと。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態: 粉末, 結晶状  
色: 白色～淡黄色  
臭い: 無臭  
臭いのしきい値: 吸入による健康障害の可能性のために決められていない。

pH: 8.5 – 10.5 (OECD Guideline 122)  
(5 % (m), 20 ° C)

融点（分解）: 分解する。

沸点: (1,013.25 hPa)  
試験は、科学的に正当化されていない。

引火点: 試験は、科学的に正当化されていない。

蒸発率: この製品は、不揮発性固体である。

可燃性 (固体/ガス):	試験は、科学的に正当化されていない。 (その他)
爆発下限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。
爆発上限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。
熱分解:	500 ° C
自己発熱性:	自己発熱性物質ではない。
爆発危険有害事項:	化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。
火災を引き起こす性質:	構造的特长に基づき、製品は酸化剤に分類されない。
蒸気圧:	試験は、科学的に正当化されていない。
密度:	2. 633 g/cm3 (20 ° C) 文献データ
相対密度:	2. 63 (20 ° C) 文献データ
嵩密度:	1, 400 - 1, 600 kg/m3 (その他)
水に対する溶解性:	文献データ 220 g/l (20 ° C)
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow) :	-4 (OECDテストガイドライン 107) (25 ° C)
吸着/水-土壌:	試験は、科学的に正当化されていない。
粘度:	適用せず

## 10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

湿気を避けること。大気中の酸素を避ける。

熱分解: 500 ° C

[混触危険物質]:

亜硝酸塩類, 硝酸塩類, 酸化剤, 酸

[危険有害な分解生成物]:

亜硝酸塩と反応する。硝酸塩と反応する。酸化剤と反応する。酸の影響下では、二酸化硫黄が発生する。この製品は酸素を消費する。

[危険分解物]:

二酸化イオウ

## 11. 有害性情報

### ばく露経路

#### 急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): 約 2, 610 mg/kg (OECDテストガイドライン401)

#### 急性吸入毒性

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): > 5.5 mg/l 4 h (OECDテストガイドライン403)

死亡なし 煤塵エアロゾルとして試験された。

#### 急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 2, 000 mg/kg (OECDテストガイドライン402)

死亡なし

#### 急性毒性の評価

単回の摂取であれば、低毒性である。吸入による毒性は実質上なし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

#### 症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。亜硫酸塩添加物に敏感な人は多く、皮膚炎、蕁麻疹、血管性浮腫、腹痛、下痢、気管支収縮、アナフィラキシーなど、様々な症状が生じる可能性がある。

#### 刺激性

刺激性作用の評価:

眼及び皮膚に対して刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (Draize試験)

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン404に類似)

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (Draize試験)

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性

### 感作性の評価:

動物実験では、皮膚感作性は認められなかった。感受性が特に高い個体に対する感作作用は否定できない。

### 実験または計算によるデータ:

マウスの局所リンパ節試験 (LLNA) マウス: 感作性なし (OECDテストガイドライン 429)

## 生殖細胞変異原性

### 変異原性の評価:

細菌類に対して変異原性を示さなかった。哺乳類を用いた試験では、変異原性を示さなかった。

## 発がん性

### 発がん性の評価:

この物質が飼料経由で投与されたラット長期試験では、発癌性は認められなかった。この製品は、完全には試験が行われていない。これらの記述は、類似の構造もしくは、類似の組成の製品から得られたものである。

## 生殖毒性

### 生殖毒性の評価:

動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。

## 発生毒性

### 催奇形性の評価:

動物実験では、発生毒性／催奇形性は認められなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

## ヒトにおける実績

### 実験または計算によるデータ:

感作しやすい人に対して、過剰な感作反応を引き起こす場合がある。

## 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

注意: 適用情報なし

## 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

### 反復投与毒性の評価:



この物質の反復経口摂取では物質に関連した影響は生じなかった。この物質の反復吸入摂取は、物質関連の効果の原因にならなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

## 誤えん有害性

適用せず

## その他該当する毒性情報

酸と接触して有毒ガスを発生する。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 316 mg/l, ウグイ (学名 *Leuciscus idus*) (DIN 38412 第15部, 止水式)  
本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 59 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (EU指令 79/831/EEC, 止水式)  
毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

EC50 (48 h) 230 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (その他, 止水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

水生植物:

EC50 (72 h) 31.9 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Scenedesmus subspicatus*) (OECDテストガイドライン 201, 止水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

EC50 (72 h) > 100 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Pseudokirchneriella subcapitata*) (OECDテストガイドライン 201, 止水式)

名目濃度 本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

微生物/活性汚泥への影響:

EC50 (3 h) > 1,000 mg/l, (OECDテストガイドライン 209, 止水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 28. 10. 2024

製品: Sodium Sulfite anhydrous food grade (E221)

バージョン: 1.3

(30042389/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 17.10.2025

EC10 (10%影響濃度) (17 h) 260 mg/l, プチダ菌 (学名: *Pseudomonas putida*) (DIN 38412 第8部, 水生の)

名目濃度

魚類に対する慢性毒性:

無影響濃度 (34 日) 316 mg/l, ゼブラフィッシュ (学名: *Brachydanio rerio*) (OECDテストガイドライン 210, 流水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

無影響濃度 (21 日), > 10 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (OECDテストガイドライン 211, 半止水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

陸生生物に対する毒性の評価:

データなし。

試験は、科学的に正当化されていない。

## 移動性

環境区分間の輸送評価:

土壌の固相には吸着しないと考えられる。

## 残留性・分解性

除去情報:

試験は、科学的に正当化されていない。

水中での安定性評価:

構造特性から加水分解はされないと考えられる。

水中における安定性に関する情報 (加水分解):

試験は、科学的に正当化されていない。

## 生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

生物への著しい蓄積はないと考えられる。

生体蓄積性:

試験は、科学的に正当化されていない。

## [追加情報]

その他の環境毒性情報:

この物質の濃度がさらに高くなると、生物学的下水処理施設及び/又は水路において強力な化学的酸素消費が生じることがある。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 28. 10. 2024

製品: Sodium Sulfitе anhydrous food grade (E221)

バージョン: 1.3

(30042389/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 17.10.2025

### 13. 廃棄上の注意

国内の法令に従い廃棄するか焼却すること。  
国のまたは地方の法定事項に従うこと。

[汚染された容器]:  
汚染された包装から内容物を可能なかぎり取り除き、包装を完全に浄化した上でリサイクルに回すこと。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際陸上輸送:

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号 非該当  
品名（国連輸送名）: 非該当  
国連分類（輸送における危険有害性クラス）: 非該当  
容器等級: 非該当  
環境有害性: 非該当  
使用者への特別注意事項 知見なし

#### 海上輸送

IMDG  
輸送規則では危険有害性物質に分類されていない  
国連番号もしくはID番号: 非該当  
品名（国連輸送名）: 非該当  
国連分類（輸送における危険有害性クラス）: 非該当  
容器等級: 非該当  
環境有害性: 非該当  
海洋汚染物質: 非該当  
使用者への特別注意事項 知見なし

#### Sea transport

IMDG  
Not classified as a dangerous good under transport regulations  
UN number or ID number: Not applicable  
UN proper shipping name: Not applicable  
Transport hazard class(es): Not applicable  
Packing group: Not applicable  
Environmental hazards: Not applicable  
Marine pollutant: no  
Special precautions for user: None known

#### 航空輸送

IATA/ICAO  
輸送規則では危険有害性物質に分類されていない  
国連番号もしくはID番号: 非該当  
品名（国連輸送名）: 非該当

#### Air transport

IATA/ICAO  
Not classified as a dangerous good under transport regulations  
UN number or ID number: Not applicable  
UN proper shipping: Not applicable

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 28. 10. 2024

製品: Sodium Sulfite anhydrous food grade (E221)

バージョン: 1.3

(30042389/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 17.10.2025

国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当	name: Transport hazard class(es):	Not applicable
容器等級:	非該当	Packing group:	Not applicable
環境有害性:	非該当	Environmental hazards:	Not applicable
使用者への特別注意事項	知見なし	Special precautions for user	None known

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

## 15. 適用法令

消防法: 非危険物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

Marine Pollution Prevention Law (JP)

対象となる範囲:  $\leq 25\%$

Y 類物質

もし、有害液体物質が、タンク洗浄もしくはバラスト排出により海に排出されるなら、有害液体物質は、海洋資源や人健康に災害を及ぼしたり、動物や海のその他の合法的使用に害を及ぼすと見なされる。従って、海洋環境への排出の質と量の制限は正当なことである。

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

Marine Pollution Prevention Law (JP)

係数: 1

Y 類物質

もし、有害液体物質が、タンク洗浄もしくはバラスト排出により海に排出されるなら、有害液体物質は、海洋資源や人健康に災害を及ぼしたり、動物や海のその他の合法的使用に害を及ぼすと見なされる。従って、海洋環境への排出の質と量の制限は正当なことである。

### その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

## 16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253: 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報が無いことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 28. 10. 2024

製品: Sodium Sulfite anhydrous food grade (E221)

バージョン: 1.3

(30042389/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 17.10.2025

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。